

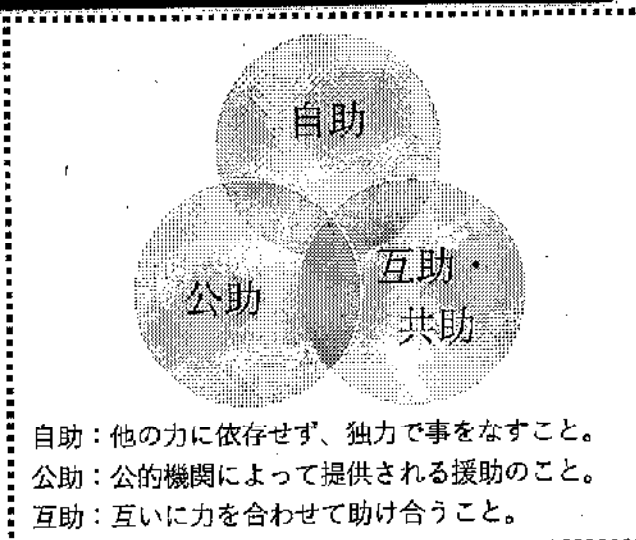
上杉鷹山（うえすぎ ようざん） 三助の思想

今年は、例年になく雪降りの日が多く、市内でも地域によっては、日常生活に支障が生じるほどの積雪になったところもあったようです。学校周辺でも、車道の除雪だけでなく、通学の歩道も除雪していただき、安全な登下校の確保をしていただきました。また、学校の玄関前や駐車場までも除雪していただくなど、関係の皆様のお陰で通常通りに学校生活を行うことができました。

先日の20cm程の積雪の時には、7年の中学生2名が、バス停や校門付近の除雪作業をしてくれました。この時期の雪は湿気が多く、重くて殊の外（このほか）手間取り、なかなか作業がはかどらず難儀（なんぎ）をしていました。小学生の登校バスが到着する時刻が迫っているのに、バス停付近の除雪ができていないことに気づいて、見るに見かねて、二人の中学生がスコップをもって駆けつけてくれ、本当にありがたかったです。

阪神淡路大震災や東日本大震災の時に、ボランティア活動の大切さが繰り返し言われました。また最近では、「自助」「公助」「共助」という言葉をよく耳にします。これは、江戸時代の米沢藩9代藩主・上杉鷹山（うえすぎ ようざん）の『三助の思想』をもとにしたものと言われています。上杉鷹山は、稀代の名君として知られており、『三助の思想』に基づき、厳しい藩財政を立て直しました。

ボランティアや『互助・共助』の精神は、市民同士や仲間との助け合いです。『自助』だけではやれない部



分を補うもので、こうした精神が広がると優しい社会ができます。ただし、『自助』努力を怠ると、依存する生き方になってしまいます。除雪作業を例にすると、小学校教員が、「自助」で苦しんでいた雪かきを見かねて、中学生が「互助」の精神を発揮して助けてくれました。

最近の社会は、自助や公助に偏り過ぎる傾向があり、日常的に互いに助け合う場面が少なくなったと言われています。互助・共助が広がるためには、助ける側と助けられる側の双方の関係が調（ととの）えられなければ、互助の精神は発揮できません。

7年生2人の中学生は、自分たちの生活している中学校だけでなく、高島学園の一員として小学校も良くしていきたいという気持ちを持ってあげることが、とてもうれしく思いました。そして、そんな気持ちのある生徒が将来大人になった時には、きっと地域を支える『互助・共助』の主役になってくれるのだろうと期待されます。

■卒業式について■

コロナウイルス感染症は、一向に収束する気配がありません。そのため、3月18日（金）に計画している卒業式については、昨年と同様に13:30から開式することとします。また、保護者の列席については、密集を避けるために、2名までに制限させていただきます。

なお、1～5年の在校生については、午前中の2時間の授業を行い、11時下校とします。卒業生の保護者の皆さまには、別に文書によりお伝えします。

現下の感染状況をご理解いただき、ご協力くださるようよろしくお願い申し上げます。

令和3年度 高島学園高島小学校 保護者学校評価の結果【12月実施】

12月に保護者の皆さんにご協力いただいた学校評価を、下記の通りまとめましたので報告します。ご協力ありがとうございました。

評価項目	令和3年度調査					令和2年度調査			対前年比較 A-B		
	よくあてはまる ①	あてはまる ②	あまりあてはまる ③	あまりあてはまらない ④	わからない ⑤	よくあてはまる ①	あてはまる ②				
① あなたのお子さんは、学校が楽しいと言っていますか。	37.0%	48.0%	11.0%	2.0%	2.0%	85.0%	84人	100人	82.5%	84.2%	↗
② あなたのお子さんは、家庭でお手伝いをよくしますか。	16.0%	43.0%	36.0%	5.0%	1.0%	59.0%					
③ あなたのお子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。	22.0%	55.0%	14.0%	8.0%	1.0%	77.0%	40人	133人	77.6%	76.2	-
④ あなたのお子さんは、読書習慣が身についていますか *目標…年間:1・2年50冊 3・4年30冊 5・6年20冊以上	6.0%	22.0%	38.0%	31.0%	2.0%	28.0%	17人	47人	28.7%	27.7	-
⑤ 子どものことで、気軽に学校へ行ったり、相談したりできますか。	20.0%	53.0%	20.0%	1.0%	6.0%	73.0%	52人	112人	73.5%	72.3	-
⑥ あなたのお子さんは、気持ちのよいあいさつや、時・場・相手に合った言葉遣いをしていますか。	10.0%	52.0%	30.0%	5.0%	3.0%	62.0%	23人	130人	68.6%	61.3	↘
⑦ あなたのお子さんは、集団登校やお帰りの時間を守っていますか。	45.0%	40.0%	10.0%	1.0%	1.0%	85.0%	104人	101人	91.9%	84.1	↘
⑧ あなたのお子さんは、家庭学習をがんばっていますか。	14.0%	37.0%	41.0%	7.0%	3.0%	51.0%	30人	91人	54.3%	50.5	↘
⑨ 学年・学校だよりや小中一貫だより、ホームページで学校のことがよくわかる。	13.0%	66.0%	14.0%	3.0%	4.0%	79.0%	27人	126人	68.6%	78.3	↗

評価結果について

- 肯定的評価が80%を下回る設問(②③④⑤⑥⑧⑨)が、9問中7問あり、保護者はお子さんや学校の状況を厳しく評価している。
- 特に、学校での指導と関連の強い④読書活動と⑧家庭学習については、PTAと連携した取組を進めてきたが、改善につながっていない。新たな手立てを検討していく必要があると考えます。
- また設問⑥からは、4人に一人の割合で保護者の方は、お子さんに関する相談等について、気軽に相談に行きにくいと回答しておられます。お子さんの悩みや相談に対して、ご納得いただける対応ばかりではありませんが、保護者と学校の距離が離れていることは、望ましいことではありません。お子さんを真ん中においた対応を心がけていきたいと考えますので、遠慮なくご相談ください。また、コロナ禍で途絶えていますが、PTAひびきあい活動などの機会を充実させることも必要であると考えます。

また、具体的なご意見を頂戴しました。紙面の都合により、一部になりますご紹介させていただきます。ひとつひとつに対してお答えはできませんが、次年度の学校運営の活かせていただきたいと思います。

- タブレットが重そうで見づらいです。教科書を置いて帰ったり、色々と工夫してもらいたいです。
- 学校での様子がほとんど分からないので、参観がもう少し増えることを願っています。よろしくお願いします。今年初めての授業参観は、分散で時間帯も広く設けられていて、兄弟がいる本家庭は大変ゆったりと参観できて良かったです。以降も、このような予定で計画していただけると有意義な時間になると思います。
- 教科によって先生が違いますが、楽しい先生の方が勉強がはかどると言っています。 ●教員とのスキンシップは必要ない。
- 思春期のメンタルケアの授業が必要。 ●元氣よく挨拶をしてほしいです。挨拶運動をしてほしいです。
- それなりに学校生活を楽しみ、学んでいますが、下の学年の子を思いやる力や自分に関わりが少ない人への接し方が上辺だけの様な気がします。通学班や、登下校の様子を見ていると、下級生への思いやりが欠けている高学年が多い様な気がして心配してしまいます。PTAと学校がもう少し連携して見守りができたら良いのと思います。
- コロナ禍の中先生方には、学校生活を充実させるため様々な努力や工夫をしていただき、大変感謝しております。子どもたちは、色々と制限や、約束事が増え、不安ややりきれない思い等を感じつつも、先生方のおかげで、毎日、学校生活を送る事ができ有り難く思います。一方で、友達関係や学習面での、悩みもつきません。特に、学習面では、自ら考え学ぼうとする前向きな姿勢にならず、答えだけを求めたりして、なかなか理解が深まらず、どうしたものかと困っています。
- 感染予防の工夫をしながら運動会や参観を開催していただいた事は大変ありがたい事だと思っています。ただ、できれば保護者が参加する行事は関係をあけていただきたいです。両親共にフルタイムで働く家庭は短い期間に仕事を休むわけにいかず参加しにくかったです。
- 学校と家庭との距離が遠すぎる様に思っています。学校と各保護者と連携はしているかもしれませんが、たまにいく参観日等の様子を見て、不安に思う保護者は多いと思います。コロナもありますが、もっとPTAを活用して、距離を縮めていければ…と思います。
- コロナ禍の中先生方には、学校生活を充実させるため様々な努力や工夫をしていただき、大変感謝しております。子どもたちは、色々と制限や、約束事が増え、不安ややりきれない思い等を感じつつも、先生方のおかげで、毎日、学校生活を送る事ができ有り難く思います。